

TOTO

洗濯機用シェイプアップキャビネット

LWX650F/750F, LWJ650F/750F, LWL650F

製品の機能が十分に発揮されるように、この説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1) 安全上の注意

- 取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

		は禁止の行為であることを告げるものです。
		は、必ず実行していただく強制の内容であることを告げるものです。

- 本体に付属している取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

表示	意味
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、 ● 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、 ● 人が傷害を負う可能性が想定される内容 ● 物的損害の発生が想定される内容 を示しています。

警告

壁固定ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する
キャビネットが落下しけがをするおそれがあります。

必ず実行

注意

取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する
使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。

浴室など湿気の多い場所へ設置しない
木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。

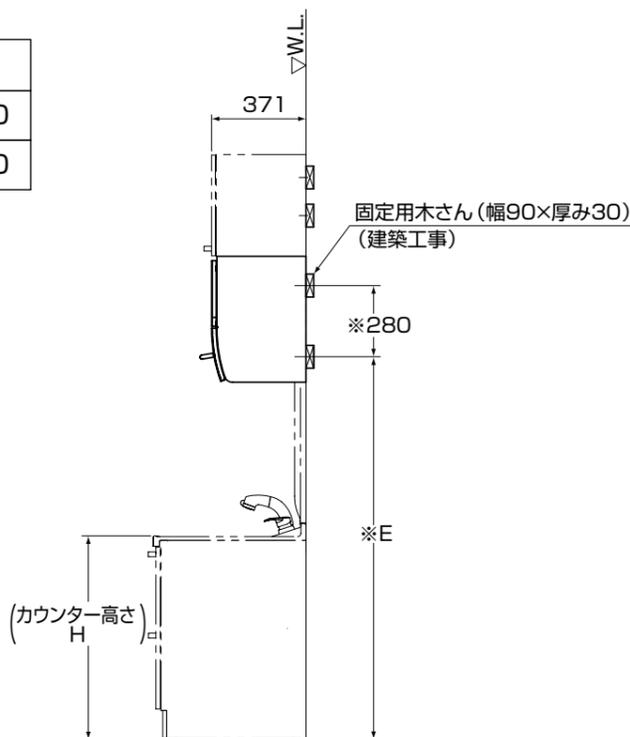
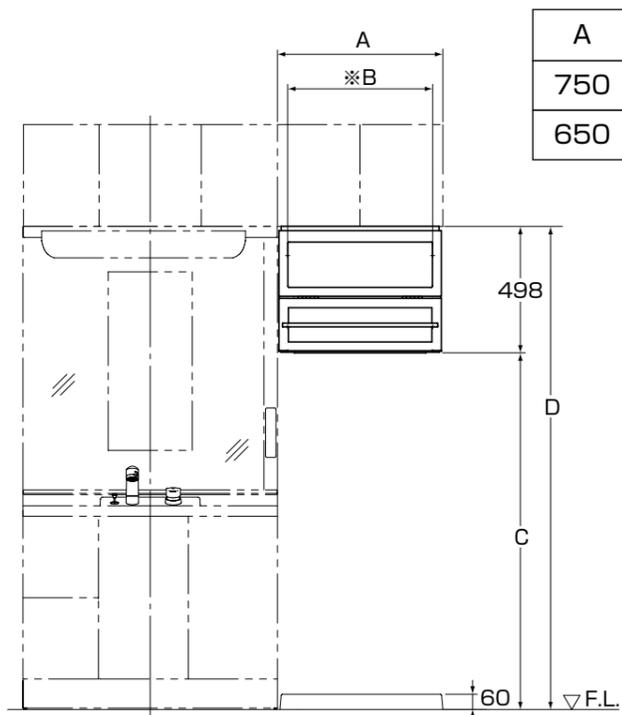
必ず実行

禁止

2) 設置寸法

- 特殊品の場合の設置寸法は、承認図を確認してください。
- ※印の寸法は木ねじ位置を示します。

(※)化粧台と化粧鏡の組み合わせによって寸法が異なります。



H	C	D	E
750	1352	1850	1462
800	1402	1900	1512
850	1452	1950	1562

3) 付属部品明細

壁固定用ねじ (φ4.5×70)	連結用ねじ (φ3.1×25)	裏板	裏板固定用ねじ (φ3.5×12)	化粧キャップ	取扱説明書
4本	2本	1枚	4本	4個	1冊

4) 設置上の注意

- 直射日光にさらされる場合は、必ずカーテンなどで遮ってください。
- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。
- 壁面に窓があるときは、窓枠がキャビネット内に来るように取り付けてください。また、窓がない壁面に設置するときは、付属の裏板を木ねじでキャビネットに固定してください。

5) 取り付け条件

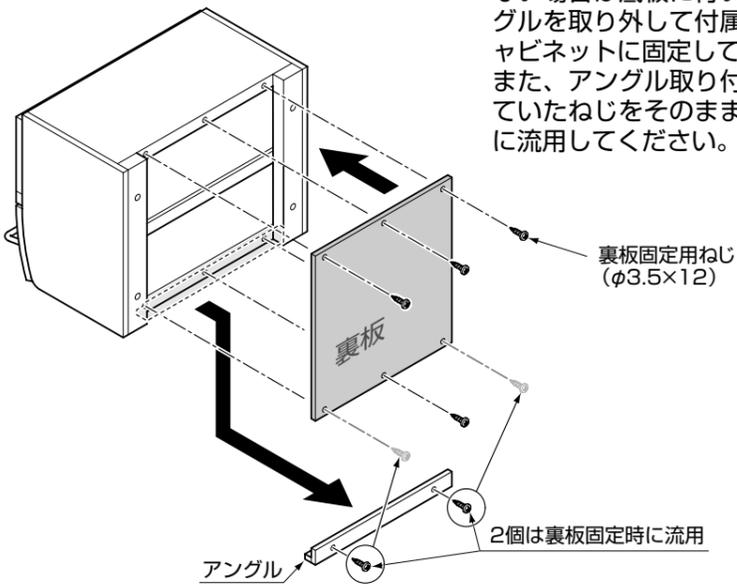
- キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れてください。
※洗面用具などが収納されるとかなりの重量になりますので地震などの際に落ちることのないように、壁固定ねじ取付位置には壁面に固定用木さんを入れてください。
(固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁の前面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。)(建築工事)

※タイル・コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴を開け、壁固定用ねじに合ったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径で開けてください。)

6) 取り付け手順 (番号順に取り付けてください。)

① 裏板の固定

※キャビネットの取り付け面に窓がない場合は底板に付いているアングルを取り外して付属の裏板をキャビネットに固定してください。また、アングル取り付けに使用していたねじをそのまま裏板固定用に流用してください。



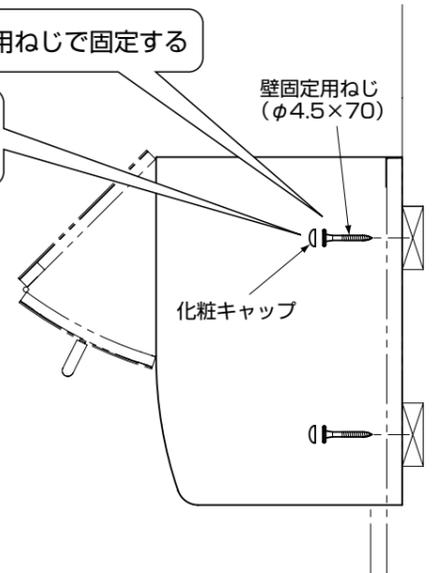
② キャビネットの壁固定

1 壁固定用ねじで固定する

2 化粧キャップをねじに取り付ける

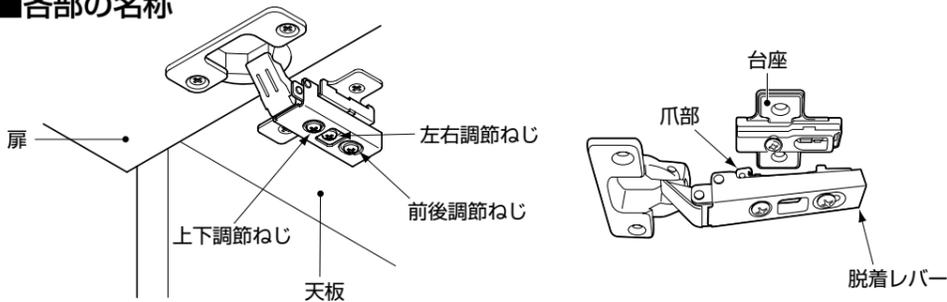
※壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取り付きますのでライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。

※タイル・コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴を開け、壁固定用ねじに合ったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径で開けてください。)



③ 扉の着脱・調整方法

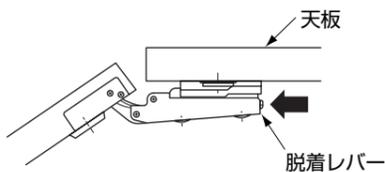
■各部の名称



■扉の着脱方法

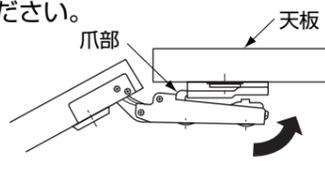
● 取り外し方

本体後端の本体脱着レバーを矢印の方向に押し込みながら、本体後端部を持ち上げてください。



● 取り付け方

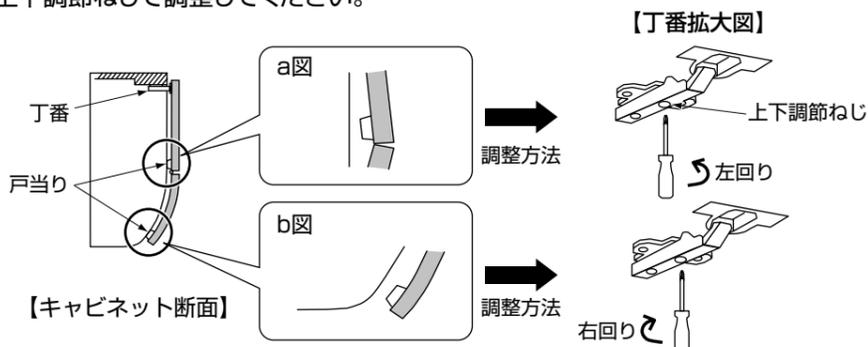
丁番先端の爪部に台座の先端を合わせはめ込み、カチッと、はまるまで本体後端部を矢印の方向に押し込んでください。



※本体がきちんと台座に装着されているか確認してください。

■扉の調整方法

扉が完全に閉じない(a図)、戸当りが側板に接しない(b図)場合は、下図を参考に丁番の上下調節ねじで調整してください。



7) 取り付け完了後の確認と清掃

- キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 製品に付いた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたく絞ってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の台所用中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。
シンナー・ベンジンなどの使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しないでください。
- 扉に傷つき防止用保護シートが貼られている場合は、シートをはがしてください。